

第103回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

繰越利益剰余金	仕	入	減価償却費	株式交付費
未払金	貯蔵品	別途積立金	繰越商品	
備品	消耗品	資本準備金	固定資産除却損	
利益準備金	未収入金	前受金	株式交付費償却	
備品減価償却累計額	売掛金	資本金	未払配当金	

1. 株式会社加藤商会（決算：年1回・1月31日）は、平成14年2月1日に購入した商品陳列用ケース（取得原価 ¥ 400,000）を平成20年1月31日に除却した。なお、この商品陳列用ケースは直ちに倉庫に保管し、その処分価額を ¥ 50,000 と見積もった。ただし、商品陳列用ケースの耐用年数は8年、残存価額は取得原価の10%、定額法によって償却し、間接法で記帳しているが、当期分の減価償却費の計上もあわせて記入すること。

2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

3. 伊東商事株式会社（発行済み株式総数300株）は、平成20年6月26日の定時株主総会において、以下のように繰越利益剰余金の処分が行われた。ただし、平成20年3月31日（決算日）現在の資本金 ¥ 20,000,000、資本準備金 ¥ 2,600,000、利益準備金 ¥ 2,200,000 であった。

- ・配当金：1株につき ¥ 5,000
- ・別途積立金：¥ 300,000
- ・利益準備金：会社法の定める必要額

4. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

5. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	備品減価償却累計額	225,000	備品	400,000
	減価償却費	45,000		
	貯蔵品	50,000		
	固定資産除却損	80,000		
別解	減価償却費	45,000	備品減価償却累計額	45,000
	備品減価償却累計額	270,000	備品	400,000
	貯蔵品	50,000		
	固定資産除却損	80,000		
3	繰越利益剰余金	1,950,000	未払配当金	1,500,000
			利益準備金	150,000
			別途積立金	300,000